



ViewFramer ユーザーガイド Salesforce ver. (Excel ブラウザマッピング /一覧)

Ver.1.5

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/09/24	新規作成
1.1	2020/12/01	出力バージョンの違いについて追記
1.2	2020/12/24	「3.2 テンプレートの新規作成」の注意点を追記
1.3	2021/06/04	「7.出力アクションの作成」に、リクエストの際のパラメータ「nsPrefix」についての説明を追記
1.4	2021/09/17	「本書の使い方」に、Office アドインを使用した Excel 帳票出力設定を推奨する注釈を追記
1.5	2022/01/07	「5.1ViewFramer ログイン」の注意点を追記

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記していません。

本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、ViewFramer をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

※本マニュアルには、事情により Office アドインが使用できない場合の Excel 帳票出力設定方法を記載しております。

Office アドインが使用できる場合は、マニュアル「ViewFramer ユーザーガイド Salesforce ver. (Excel/Word Office アドイン一覽)」にて Excel 帳票出力設定方法をご確認ください。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

目次

1. はじめに	5
2. 全体の流れ	6
3. テンプレートのデザイン	7
3.1 デザインの作成	8
3.2 テンプレートの新規作成	9
3.3 基本操作の紹介.....	10
3.4 実際に作る	12
4. 項目のマッピング	17
5. ビュー定義	20
5.1 ViewFramer ログイン	20
5.2 ビューの作成.....	21
5.3 ビュー定義: 詳細画面 - 基本設定.....	21
5.4 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定	22
5.5 ビュー定義: 詳細画面 - 出力項目設定	23
5.6 ビュー定義: 詳細画面 - 出力条件.....	24
6. マッピング定義	25
6.1 マッピングの作成.....	25
6.2 マッピング管理: 詳細画面	25
6.3 マッピング管理: 出力設定画面	26
7. 出力アクションの作成	28

1. はじめに

ここでは ViewFramer で出力する帳票を作成するにあたって重要となる「一覧型」の概念について説明します。

以下のような、ヘッダー(またはフッター)部分を持たず、明細行が繰り返されるのみの帳票を「一覧型」と定義します。

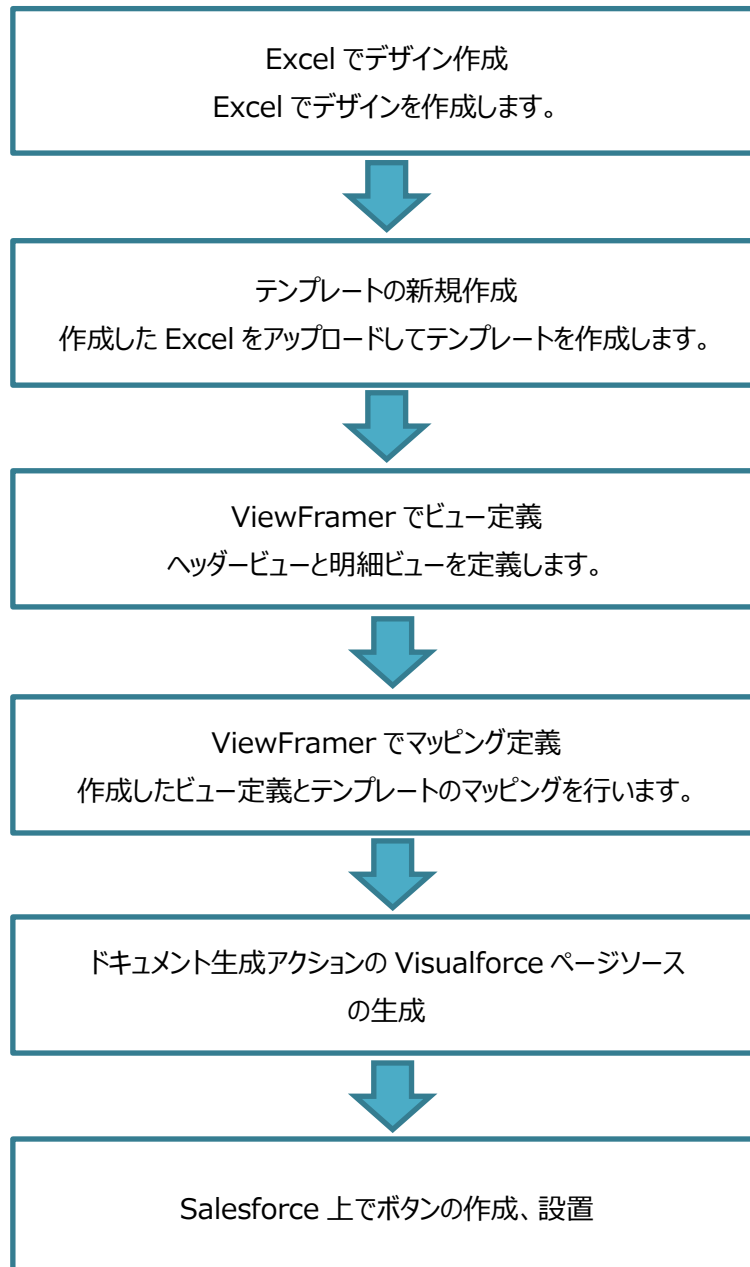
商談一覧				
完了予定日	営業担当者	商談名	取引先名	金額
◆ Qualification				
2016/01/10	デモ1601 管理者	サンプル商談あ	株式会社オプロジャパン	¥90,000
2016/12/24	デモ管理PP	デモ商談	トリヒキサキ株式会社	¥80,000
			小計	¥170,000
◆ Id. Decision Makers				
2016/05/31	デモ1601 管理者	新規案件	salesforce.com	¥90,000
2016/06/15	デモ1601 管理者	サンプル商談2	取引先1	¥90,000
			小計	¥180,000
◆ Closed Lost				
2016/11/22	デモ1601 管理者	クラウドサービス2	株式会社オプロジャパン	¥120,000
			小計	¥120,000

明細

ViewFramer からこの一覧型帳票を作る場合、明細ビュー(起点となるオブジェクトの複数レコードから抽出したデータ)を用いて明細部を埋めることになります。

2. 全体の流れ

ViewFramer では、以下のような流れで帳票出力が可能になります。



3. テンプレートのデザイン

出力したい帳票の見た目を OPROARTS Live でデザインします。

本ユーザーガイドでは、以下のような帳票を出力するためのテンプレートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												

商談一覧

完了予定日	営業担当者	商談名	取引先名 ④	金額
① 2100/12/31	② 山田 桃太郎	③ 商談1	サンプル取引先	⑤ 10000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談2	サンプル取引先	20000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談3	サンプル取引先	30000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談4	サンプル取引先	40000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談5	サンプル取引先	50000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談6	サンプル取引先	60000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談7	サンプル取引先	70000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談8	サンプル取引先	80000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談9	サンプル取引先	90000

番号	内容
①	商談オブジェクトの完了予定日項目
②	商談所有者名
③	商談名
④	商談オブジェクトに紐づく取引先名
⑤	商談オブジェクトの金額項目

番号を振っていない部分の文言は固定文言です。

任意の文言を配置、もしくは何も配置しなくても問題ありません。

※本テンプレートは帳票テンプレートの構造を理解するため、敢えて非常にシンプルな構成にしています。

OPROARTS Live での帳票デザインの詳細はこちらをご参照ください。

<https://s.oproarts.com/help/contents/ja/designer.html>

3.1 デザインの作成

デザインはすべて Excel 上で行います。書式設定や数式、マクロなどをそのまま引き継ぐことができます。
ここでは、以下のように Excel シートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

デザインを作成する際の注意点は以下 2 点です。

- ・ アップロードできるセル数は 2500 セルまでですので、セルはできるだけ結合してください。
- ・ デザインに表示される領域は、Excel 上で[Ctrl]+[End]キーを押下した時に選択されるセルと A1 セルの間の範囲になります。この範囲に不要なセル（空欄の行や列）がある場合はできるだけ取り除いてください。
- ・ 数式があるセルにマッピングしても、出力時は数式が保持されます。

その他の制限事項については、以下のヘルプのセクション

- ・ Live, Document Designer for Office 全てに対する制限
- ・ Live Excel の制限(Live for Salesforce, Live Excel) ※Office アドインではなく、ブラウザマッピング版に記載しております。

[Excel/Word/PowerPoint 帳票に関する動作要件と制限事項](#)

3.2 テンプレートの新規作成

OPROARTS Designer にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。



ここでは、[Excel] タブで「Excel アップロード」を選択します。
連携方法「ViewFramer/D3Worker」、出力形式「Excel」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力し、[作成] をクリックしてください。

- ・使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- ・先頭の文字はアルファベットである
- ・最後の文字がアンダースコアでない
- ・アンダーバーが 2 個以上連続していない

Excel ブックに作成したデザインを選択し、[作成] をクリックします。



※デザイナー上では、Excel の編集を行うことはできません。デザインが完了している Excel をアップロードしてください。

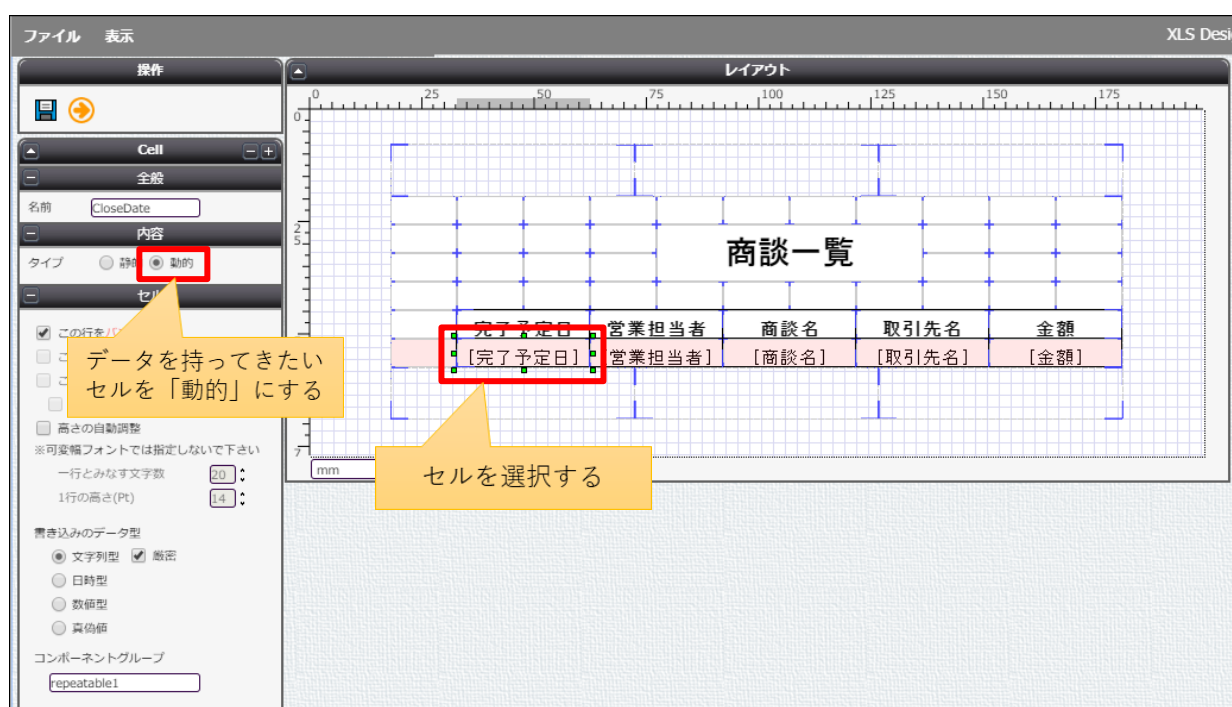
※Excel をアップロード後、シート名を変更することができません。ご注意ください。

3.3 基本操作の紹介

使用する Excel のセル座標に対して、データの挿入を行う仕組みとなっています。そのため、セルの書式設定、関数、マクロ、図形、グラフ、画像がお使いいただけます。グラフや図形など、デザイン上には表示されないコンポーネントがありますが、出力時には表示されます。

データマッピングを行うセルを指定するため

1. レイアウトのセルをクリックして選択し、
2. 画面左の[内容][タイプ]の「動的」を選択します。
静的 …… 固定の文言を表示します。
動的 …… Salesforce のデータを表示します。



また、作成したテンプレートの編集画面でレイアウトをクリックした時に設定できる機能は以下です。

名称	機能
非表示行を処理しない	チェックをいれた場合、非表示行は削除される。
明細の出力行がない場合そのままにする	チェックをいれた場合、明細が一つもない時でも空の明細行を表示する。
条件付き書式を明細に合わせ調整する	チェックをいれた場合、Excel に設定されている条件付き書式を明細すべてに適用する。
データが空の場合はセルを空で上書く	チェックをいれた場合、データが空の時にはセルを空にする。
メタデータ	選択した属性を動的に変更することができる

セルをクリックした時に設定できる機能は以下です。

名称	機能
タイプ	「動的」を選択すると、外部データを表示します。
この行をバンドとする	選択されているセルを含む行を明細行とします。
この行をグループヘッダとする	選択したセルを含む範囲をグループヘッダ・フッタとして指定します。 この設定を行うと、マッピング画面でグループキーとなる項目を指定することができ、グループキーの切り替わるタイミングでヘッダ・フッタが表示されます。 バンドの上方をグループヘッダ、下方をグループフッタとして自動的に設定します。
この行をグループフッタとする	同上
グループフッタで改ページ	「この行をグループフッタとする」の設定がされている時のみ指定できます。この設定を行うと、グループフッタが切り替わるタイミングで「改ページの挿入」設定がされます。
高さの自動調整	「折り返して全体を表示する」設定を行います。1 行の文字数を指定する必要があり、等幅フォントのみ対応しています。
書き込みのデータ型	指定したデータ型で Excel に挿入します。セルの書式設定の変更はいたしません。
コンポーネントグループ	マッピング画面のコンポーネントグループの命名を行います。基本的には自動的に設定されます。

3.4 実際に作る

ここでは、実際にデータマッピングを行うセルの指定をします。

1. 完了予定日

完了予定日を表示したいセルをクリックします。

完了予定日	営業担当者	商談名	取引先名
[完了予定日]	[営業担当者]	[商談名]	[取引先名]

以下のようにプロパティを設定します。

この行は明細行となるので、「この行をバンドにする」にチェックを入れます。

Cell

全般

名前: CloseDate

内容

タイプ: 静的 動的

セル

この行をバンドにする
 この行をグループヘッダにする
 この行をグループフッタにする
 グループフッタで改ページ
 高さの自動調整

※可変幅フォントでは指定しないで下さい

一行とみなす文字数: 20
1行の高さ(Pt): 14

書き込みのデータ型

文字列型 厳密
 日時型
 数値型
 真偽値

コンポーネントグループ

repeatable1

- 名前: CloseDate
- タイプ: 動的
- この行をバンドとする: チェックを入れる
- 書き込みのデータ型: 文字型(厳密にチェック)

2. 営業担当者

営業担当者を表示したいセルをクリックします。

完了予定日	営業担当者	商談名	取引先
[完了予定日]	[営業担当者]	[商談名]	[取引先]

以下のようにプロパティを設定します。

(「この行をバンドとする」については「1. 完了予定日」でチェックを入れていれば既にオンになっています。)

Cell

全般

名前: Owner

内容

タイプ: 静的 動的

セル

この行をバンドとする

この行をグループヘッダとする

この行をグループフッタとする

グループフッタで改ページ

高さの自動調整

※可変幅フォントでは指定しないで下さい

一行とみなす文字数: 20

1行の高さ(Pt): 14

書き込みのデータ型

文字列型 厳密

日時型

数値型

真偽値

コンポーネントグループ

repeatable1

- 名前: Owner
- タイプ: 動的
- この行をバンドとする: チェックを入れる
- 書き込みのデータ型: 文字型(厳密にチェック)

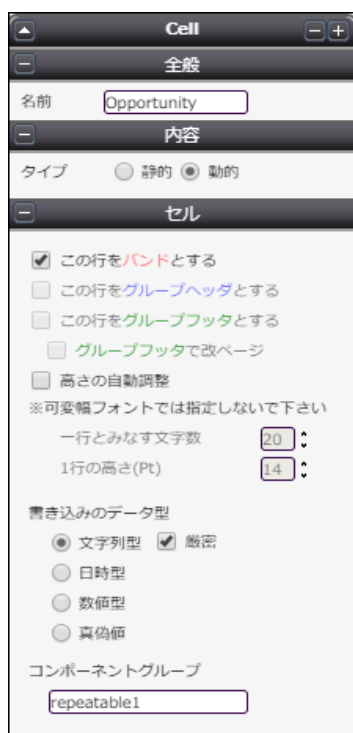
3. 商談名

商談名を表示したいセルをクリックします。

了予定日	営業担当者	商談名	取引先名
了予定日]	[営業担当者]	[商談名]	[取引先名]

以下のようにプロパティを設定します。

(「この行をバンドとする」については「1. 完了予定日」でチェックを入れていれば既にオンになっています。)



- 名前: Opportunity
- タイプ: 動的
- この行をバンドとする: チェックを入れる
- 書き込みのデータ型: 文字型(厳密にチェック)

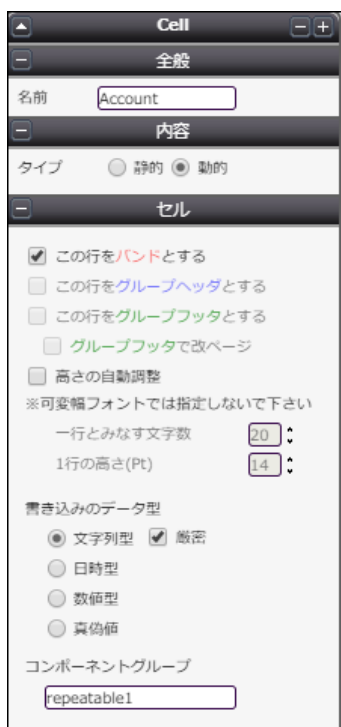
4. 取引先名

取引先名を表示したいセルをクリックします。

営業担当者	商談名	取引先名	金額
[営業担当者]	[商談名]	[取引先名]	[金額]

以下のようにプロパティを設定します。

(「この行をバンドとする」については「1. 完了予定日」でチェックを入れていれば既にオンになっています。)



- 名前 : Account
- タイプ : 動的
- この行をバンドとする : チェックを入れる
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

5. 金額

金額を表示したいセルをクリックします。

商談名	取引先名	金額
[商談名]	[取引先名]	[金額]

以下のようにプロパティを設定します。

(「この行をバンドとする」については「1. 完了予定日」でチェックを入れていれば既にオンになっています。)

The screenshot shows the 'Cell' property editor with the following settings:

- 全般**
 - 名前: Amount
- 内容**
 - タイプ: 動的
- セル**
 - この行をバンドとする
 - この行をグループヘッダとする
 - この行をグループフッタとする
 - グループフッタで改ページ
 - 高さの自動調整
 - ※可変幅フォントでは指定しないで下さい
 - 一行とみなす文字数: 20
 - 1行の高さ(Pt): 14
 - 書き込みのデータ型:
 - 文字列型
 - 数値型
 - 日時型
 - 真偽値
 - コンポーネントグループ: repeatable1

- 名前 : Amount
- タイプ : 動的
- この行をバンドとする : チェックを入れる
- 書き込みのデータ型 : 数値型

以上の設定が終わったら、保存ボタン(📄)をクリックして、矢印ボタン(➡)でマッピングへ進みます。

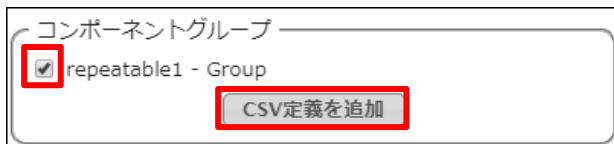
4. 項目のマッピング

デザインしたテンプレートに CSV フィールドをマッピングします。

1. 画面左上の「コンポーネントグループ」内「repeatable1」について、CSV 定義を追加します。



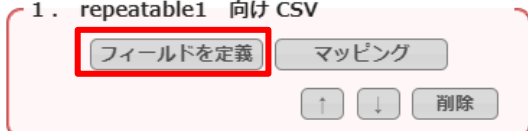
「repeatable1」にチェックを入れ、[CSV 定義を追加]をクリックします。



2. CSVデータのフィールドを決定します。
[フィールドを定義]をクリックし、[追加]ボタンでフィールドを追加します。

Dataset Table1

1. repeatable1 向け CSV



3. フィールドを追加したら[マッピング]をクリックし、それぞれのフィールドについてテンプレートのどの動的項目と対応するかを決定します。

設定したいフィールドの行をクリックして、画面左側の「CSV フィールド」から対応させたい項目を「データ」欄にドラッグ&ドロップします。

Dataset Table1

1. repeatable1 向け CSV

フィールドを定義 **マッピング**

↑ ↓ 削除

コンポーネント	コンポーネントグループ	タイプ	データ
CloseDate	repeatable1	Cell	CloseDate
Owner	repeatable1	Cell	Owner
Opportunity	repeatable1	Cell	Opportunity
Account	repeatable1	Cell	Account
Amount	repeatable1	Cell	Amount

4. マッピングが終わったら、[保存]をクリックします。

CSV定義

1. repeatable1 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

リセット **保存**

5. テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートを帳票出力に使用できる状態にします。

テンプレート配備ウィザード

テンプレートの配備

テンプレートは保存されましたが、帳票出力にはまだ反映されません。反映するには「配備」ボタンをクリックしてください。
配備ボタンのクリックで、「CID(弊社より発行されたOPROARTSの認証情報)」配下に
テンプレートをコピーします。
配備することによって、下記のフォーム、ボタンから出力できるようになります。

ドキュメント生成フォーム

配備

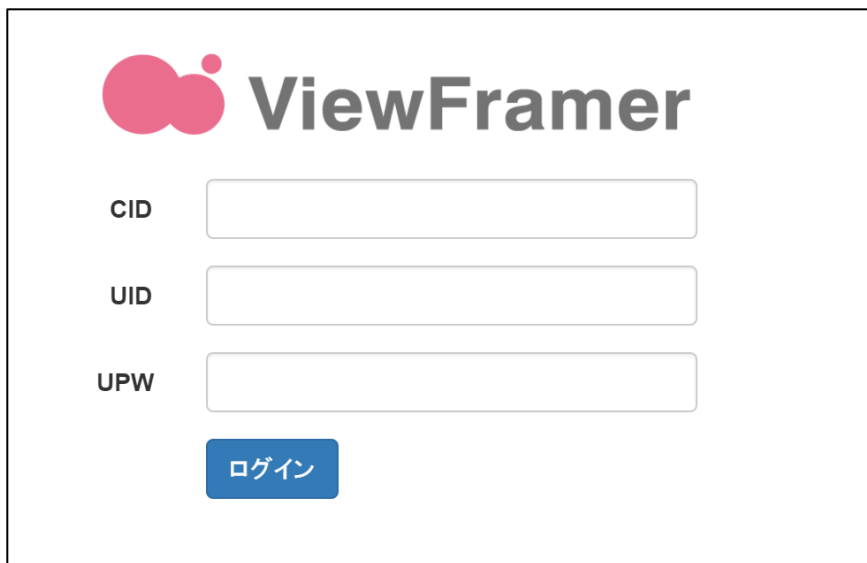
※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点が帳票出力に反映されません。

5. ビュー定義

ViewFramer でビューを定義します。

5.1 ViewFramer ログイン

最初に、https://vfui.ap.oproarts.com/view_framer_ui にアクセスし、OPROARTS 認証情報を入力して ViewFramer にログインします。



The image shows the ViewFramer login interface. It features the ViewFramer logo at the top left, which consists of two overlapping pink circles and the text 'ViewFramer'. Below the logo are three input fields labeled 'CID', 'UID', and 'UPW'. At the bottom of the form is a blue button with the text 'ログイン' (Login).

注意 同じウェブブラウザで複数のビューやマッピングを参照・編集すると上書きされてしまいます。
必ず 1 つのタブで操作してください。
既存のビューを参考にしたい場合は、別のブラウザで参考にしたいビューを開くようお願いいたします。
ただし、同時編集はできませんので参照のみにしてください。
また、別のブラウザにした場合も複数のビューを開くことは避けてください。

5.2 ビューの作成

「ビュー」タブを開いて「新規」ボタンをクリックします。



Salesforce にログインします。

(以降「現在のセッション情報を継続する」でもログイン可能です。また、以降のスライドではこの画面を省略しています。)



5.3 ビュー定義: 詳細画面 - 基本設定

基本設定では、ビューの名前とタグ(任意)を設定します。

タグは ViewFramer 内で作成したビューを検索する際のキーワードで、何も指定しなくても構いません。

ビューの名前を設定し、「次へ」をクリックします。例では、「OpportunityList」としています。

※ ビュー名は半角英数で入力してください。



5.4 ビュー定義: 詳細画面 – リレーション設定

リレーション設定では、ビューで用いる Salesforce オブジェクトを設定します。

主オブジェクトに「商談」を選択し、ショートネームを入力します。任意ですが、例では以下のように指定しています。

商談 = Opportunity 取引先 = Account ユーザ = User

関連オブジェクトには「取引先」と「ユーザ」を指定します。設定は以下の画像をご参照ください。

設定をしたら「次へ」をクリックします。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

リレーション設定

主オブジェクト: 商談 (Opportunity) 主オブジェクトのショートネーム

No. 1 関連オブジェクト: 取引先 (Account)

No.	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	取引先 ID	等しい(=)	0-商談	取引先 ID

No. 2 関連オブジェクト: ユーザ (User)

No.	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	ユーザ ID	等しい(=)	0-商談	所有者 ID

取引先と商談を結びつける条件を設定 次へ 保存

<主オブジェクトと関連オブジェクトについて>

主オブジェクトは、起点となるオブジェクトを指定して下さい。(必ずしもボタンを配置するオブジェクトとは限りません。)

関連オブジェクトは、帳票上に使用する主オブジェクト以外のオブジェクトです。参照関係先のオブジェクトも指定する必要があります。今回は、[取引先名]を表示したいため、取引先オブジェクトを関連オブジェクトとしてリレーションを作成しています。

商談レコードに紐づく取引先レコードを取得するために、関連オブジェクトのリレーション設定では「[取引先 ID]=[商談.取引先 ID]」を、ユーザレコードを取得するために「[ユーザ ID]=[商談.所有者 ID]」を指定しています。

商談 デモ商談

活動予定 | 活動履歴 | 取引先責任者の役割 | パートナー | 競合 | 商品(Standard Price Book) | 見積 添付ファイル | フェーズの履歴 | 見積

商談の詳細

商談 所有者	子管理PP [変更]	完了予定日	2016/12/24
商談名	子商談	フェーズ	Qualification
取引先名	トピキザ株式会社	確度	10%
種別		期待収益	¥8,000
主キャンペーンソース		金額	¥80,000

追加情報

リードソース

次のステップ

説明

- ・見積条件1
- ・見積条件2
- ・見積条件3

システム情報

作成者 子管理PP 2016/11/09 16:53

最終更新者 子管理PP 2016/11/09 16:53

参照先の項目を使用したいので、この参照先オブジェクトとのリレーションを設定する。

5.5 ビュー定義: 詳細画面 – 出力項目設定

出力項目設定では、帳票に出力する項目を指定します。

「全項目を追加」ボタンで Salesforce オブジェクトのすべての項目を追加することもできますが、一つずつ追加する場合は「+」ボタンをクリックして項目を増やし、「項目ビルダー」から内容を指定します。

「出力項目名」を OPROARTS Live のテンプレート上で定義されている CSV の項目名と同じにしておくと、後の手順で自動的にマッピングすることができます。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力項目設定

対象取得元 Opportunity 全項目を追加

No	項目	ソート	グループ	出力項目名	
1	FORMAT_DATE(Opportunity.完了予定日, 'yyy 項目ビルダー)	順	昇順	CloseDate	+ -
2	User.氏名 項目ビルダー	順	昇順	Owner	+ -
3	Opportunity.商談名 項目ビルダー	順	昇順	Opportunity	+ -
4	Account.取引先名 項目ビルダー	順	昇順	Account	+ -
5	Opportunity.金額 項目ビルダー	順	昇順	Amount	+ -

項目ビルダー

テンプレートのCSV
フィールド名と同じに
する。

「列追加」ボタンをクリックし、オブジェクトと列を選択して追加します。



関数を使用することも可能です。上の設定例では、完了予定日を整形して表示するために FORMAT_DATE(Opportunity.完了予定日, 'yyyy/MM/dd')と記述しています。



5.6 ビュー定義: 詳細画面 – 出力条件

レコードの抽出条件を設定できる画面です。

商談に条件を追加します。以下のように設定をしてください。

パラメータ名は任意ですが、今回は「ID」としてください。

ビュー: 定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 Opportunity Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値	
1	商談 ID	いずれかと等しい(IN)	パラメーター名	ID + -

2 Account Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
----	-----	-----	-----

+

3 User Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
----	-----	-----	-----

すべての設定が完了したら「保存」ボタンをクリックします。

一覧に戻る 戻る 元に戻す **保存**

6. マッピング定義

各ビューを一つのデータの固まりとしてまとめ、帳票テンプレートと紐づける「マッピング」の定義を行います。

6.1 マッピングの作成

最初に、「マッピング」タブを開いて「新規」ボタンをクリックします。

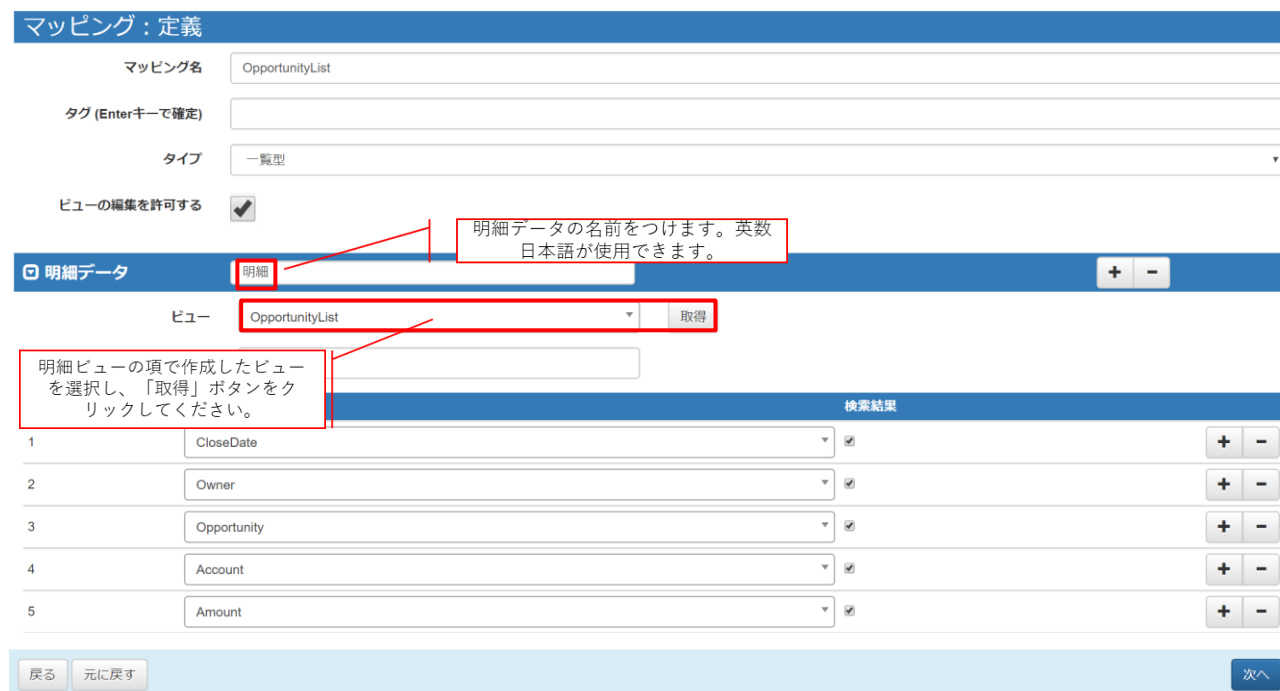


6.2 マッピング管理: 詳細画面

マッピング名とタイプを指定します。タイプは「一覧型」を選択してください。

明細データには、明細ビューを指定します。

設定ができれば、「次へ」をクリックしてください。



6.3 マッピング管理: 出力設定画面

[出力確認]タブの「データ表示」で取得データの確認を行えます。
問題がなければ、[Documentizer]タブをクリックします。

マッピング：定義 (Simple_Mapping)：出力設定

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

出力情報確認

添付CSVファイル

文字コード UTF-8

ファイル リクエストパラメーター名

ファイルを選択 選択されていません

パラメーター

ID

データ表示 出力バージョン Ver.3

ヘッダー

明細

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存 配備

出力条件にパラメータを指定している場合、直接値を入力します。

Point データ表示の際に、出力バージョン(※)の指定が可能です。

パラメーター

ID

データ表示 出力バージョン Ver.3

Ver.2

Ver.3

ヘッダー

※出力バージョン切り替えの詳細については、以下ページをご参照ください。

[ViewFramer 出力バージョン切り替え方法 \(Salesforce\)](#)

注意 ここで指定した出力バージョンが、後に Salesforce 組織に設置する帳票出力ボタンの挙動に影響することはありません。

帳票テンプレートとのマッピングを行います。以下 3 つの設定を行います。

- ① テンプレートを選択
- ② データにビュー定義を指定
- ③ テンプレートの CSV フィールドとビュー定義のデータフィールドをマッピング
(左側「データ」(=テンプレートのフィールド名)と右側「データフィールド」(=ビューの出力項目)を結びつける)

「td2」のデータには明細データを指定します。

マッピング：定義：出力設定

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

Documentizer

プロパティ

データ 明細

出力ファイル名 Live側の帳票テンプレートを指定します。 CloseDate

テンプレート

td2

データ 明細

No	データ	データフィールド	画像
1	CloseDate	CloseDate	
2	Owner	Owner	
3	Opportunity	Opportunity	
4	Account	Account	
5	Amount	Amount	

自動マッピング

「自動マッピング」でテンプレートと簡単にマッピングができます。

保存 配備

マッピングが完了したら、「配備」をクリックしてください。

7. 出力アクションの作成

Salesforce のレコード画面から帳票を出力するアクションを作成します。

Salesforce のレコード画面から ViewFramer で帳票出力をするためには、出力をリクエストするアクションを Salesforce のレコード一覧画面上に作成する必要があります。

1. [こちらのページ](#)に添付されている「リストビュー用 Visualforce ページサンプル.txt」をダウンロードし、同じページ内の「サンプル Visualforce ページの変更点」を参考に内容を書き換えます。

(例)

```
<apex:page standardController="Opportunity" standardStylesheets="false" showHeader="false" sidebar="false"
  applyHtmlTag="false" applyBodyTag="false" docType="html-5.0" recordsSetVar="displayed">
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="utf-8" />
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
<title>ViewFramer list button</title>
<apex:slds />
</head>
<body>
<div class="slds-scope">
  <div class="slds-p-vertical_x-small">
    <h1 class="slds-text-heading_small">実行しています...</h1>
    <p class="slds-text-body_regular">
      <a href="#" onClick="submitAction();">自動的に開始されない場合はこのリンクをクリックしてください。</a>
    </p>
  </div>
</div>
<apex:variable var="noCheckbox" value="{!$User.UITheme == 'Theme4t'}" />
<script type="text/javascript" src="/canvas/sdk/js/publisher.js"></script>
<script type="text/javascript" src="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-1.60.js"></script>
<script type="text/javascript">
function getSelectedIds() {
  var selectedIds = ['<apex:repeat value="{!selected}" var="record">,{!JSENCODE(record.Id)}</apex:repeat>'];
  selectedIds.shift();
  if (selectedIds.length !== 0) {
    return selectedIds;
  }
  var displayedIds = ['<apex:repeat value="{!displayed}" var="record" rendered="noCheckbox">,{!JSENCODE(record.Id)}</apex:repeat>'];
  displayedIds.shift();
  return displayedIds;
}
function submitAction() {
  /* if (!window.confirm('実行しますか?')) { return; } */

  var ids = getSelectedIds();
  if (ids.length === 0)
    window.alert('レコードが選択されていません');
  window.history.back();
  return;
}

VIEWFRAMER.action({
  mappingName: 'OpportunityList',
  fileName: '商談リスト',
  ID: ids,
  api: ['{!JSENCODE($Organization.Id)}', '{!JSENCODE($Api.Session_ID)}', '{!JSENCODE($Record.Id)}'],
}).url('').withS1('').excelMerge();
</script>
</body>
</html>
```

アクションを設置するオブジェクトの API 参照名です

リストビューで選択した複数のレコード ID が入った値です
ここに入っているレコード ID の商談オブジェクトについて、帳票が出力されます

デザインした帳票テンプレートに合わせて出力形式を指定します。
「pdf」の部分で「excelMerge」に変更します。

Point

上記内容の

「<apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-1.**.js" />」の箇所について

- デフォルトでは、2020年10月26日以降の出力バージョン(v3)で帳票出力されます。

1.** の部分が、1.60以上のバージョンになっていることを確認してください。

例: <apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-1.60.js" />

- 2020年10月25日以前 of 出力バージョン(v2)で帳票出力をしたい場合は

「<apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-1.50.js" />」に書き

換えてから Visualforce ページを保存してください。

出力バージョン(v2、v3)の違いは以下ページに記載の通りです。

[ViewFramer 出力バージョン切り替え方法 \(Salesforce\)](#)

Point

ボタンを設置する組織で使用する OPROARTS Connector の種類に合わせて、

「VIEWFRAMER.action({...}」以下に

以下の記述を追記してください。

- soarize OPROARTS Connector の場合

nsPrefix:"appsfs",

- docutize OPROARTS Connector の場合

nsPrefix:"docutize",

- OPROARTS Connector ver2.0 以降 (※)

nsPrefix:"oproarts1",

- OPROARTS Connector ver1.34 以前 (※)

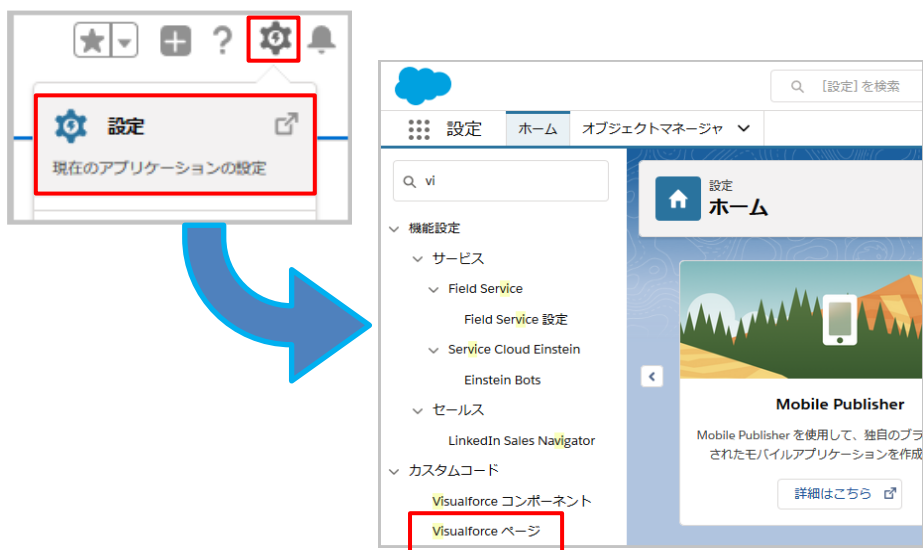
上記のいずれも指定していない状態にします。

※OPROARTS Connector のバージョンは、Salesforce の「設定」> 「インストール済みパッケージ」画面にてご確認ください。

以下、設定例です。

```
VIEWFRAMER.action({  
  
    mappingNm:'SampleMappingName',  
  
    fileName:'SampleFileName',  
  
    nsPrefix:"oproarts1",
```

2. 設定>カスタムコード>Visualforce ページを選択します。



3. [新規]ボタンをクリックし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

The image shows two parts of the Salesforce interface. The top part is the 'Visualforce ページ' (Visualforce Page) configuration page. It has a search bar with 'すべて' (All) selected and a '新規ビューの作成' (Create New View) button. Below the search bar is a navigation menu with letters A through P. The '新規' (New) button is highlighted with a red box. A blue arrow points from this button to the 'Visualforce Markup' editor below.

The 'Visualforce Markup' editor shows the following code:

```

1 <apex:page standardcontroller="opportunity_standardstyresheets" showheader="false" sidebar="false
2   applyHtmlTag="false" applyBodyTag="false" docType="html-5.0" recordSetVar="displayed">
3 <html lang="ja">
4 <head>
5 <meta charset="utf-8" />
6 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
7 <title>ViewFramer list button</title>
8 <apex:slds />
9 </head>
10 <body>
11 <div class="slds-scope">
12   <div class="slds-p-vertical_x-small">
13     <h1 class="slds-text-heading_small">実行しています...</h1>
14     <p class="slds-text-body_regular">
15       <a href="#" onclick="submitAction();">自動的に開始されない場合はこのリンクをクリックしてください。</a>
16     </p>
17   </div>
18 </div>
19 <apex:variable var="noCheckbox" value="{!$User.UITheme == 'Theme4t'}" />
20 <script type="text/javascript" src="/canvas/sdk/js/publisher.js"></script>
21 <script type="text/javascript" src="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-1.60.js"></script>
22 <script type="text/javascript">
23 function getSelectedIds() {
24   var selectedIds = []; <apex:repeat value="{!selected}" var="record">,'{!$USERCODE(record.Id)}'</apex:repeat>;
25   selectedIds.shift();
26   if (selectedIds.length !== 0) {
27     return selectedIds;
28   }
29   var displayedIds = ['']; <apex:repeat value="{!displayed}" var="record" rendered="{noCheckbox}">,'{!$USERCODE(record.Id)}'</apex:repeat>;

```

表示ラベル(例)

商談一覧

名前(例)

opportunity_list

「Lightning Experience～」

チェックを入れる

内容

1 で変更した内容

4. アクションを設置するオブジェクトを選択して、設定の[オブジェクトを編集]をクリックします。



5. 「カスタムボタンまたはカスタムリンク」の編集画面へアクセスし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談のカスタムボタンまたはカスタムリンク
新規ボタンまたは新規リンク

カスタムボタンまたはカスタムリンクの編集

表示ラベル

名前

説明

表示の種類

- 詳細ページリンク サンプルを表示
- 詳細ページボタン サンプルを表示
- リストボタン サンプルを表示
- チェックボックスの表示 (複数レコード 選択用)

動作

内容のソース

コンテンツ

表示ラベル(例)

商談一覧発行

名前

OpportunityList

表示の種類

リストボタン を指定

チェックボックスの表示(複数レコード選択用) にチェック

動作

現在のウィンドウにサイバー付きで表示 を指定

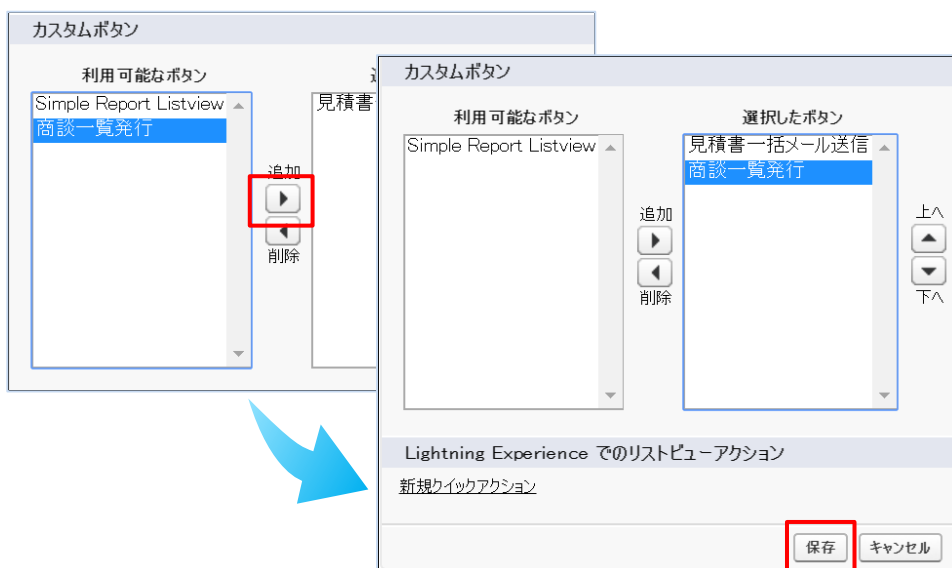
内容

コンテンツ→作成した Visualforce ページを指定

6. 設定 > オブジェクトマネージャ > 商談画面の[Salesforce Classic の検索レイアウト]をクリックし、リストビューの[編集]リンクをクリックします。
- ※ [Salesforce Classic の検索レイアウト]メニューがない場合、[検索レイアウト]メニュー内のリストビューを編集します。



7. 5 で作成したアクションを選択して[追加]ボタンをクリックし、保存します。



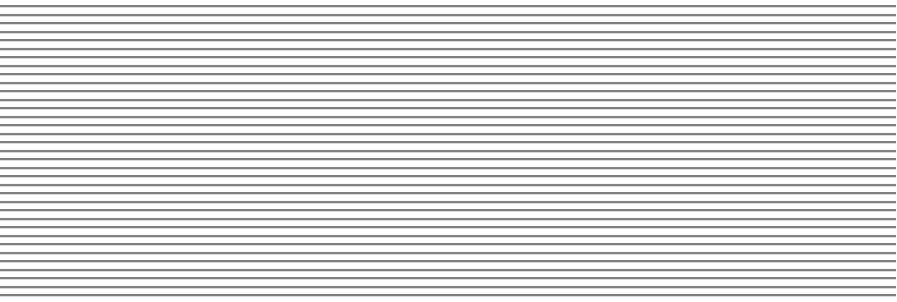
8. リストビューページにアクションが表示されていることを確認します。

※「すべての商談」を選択してください。



41 個の項目・並び替え基準: 商談名・検索条件: すべての商談・数秒前に更新されました

商談名 ↓	取引先名	金額	完了予定日	フェーズ	商談所...
1 <input type="checkbox"/> 商談9	サンプル取引先	¥90,000	2100/12/31	Prospecting	docut
2 <input type="checkbox"/> 商談8	サンプル取引先	¥80,000	2100/12/31	Prospecting	docut
3 <input type="checkbox"/> 商談7	サンプル取引先	¥70,000	2100/12/31	Prospecting	docut
4 <input type="checkbox"/> 商談6	サンプル取引先	¥60,000	2100/12/31	Prospecting	docut



ViewFramer
ユーザーガイド
Salesforce ver.
(Excel ブラウザマッピング
/一覧)

